

NPカチオン

カチオン性一材型下地調整塗材

カチオン性再乳化形粉末樹脂を最適量配合した、
各種下地に対して抜群の付着力を発揮する
ポリマーセメントモルタルです。

特長 1

下地種類を問わない高い付着力

既存の各種塗料、塗材や陶磁器質タイルなどに対して極めて優れた付着力が得られます(適応下地は下表参照)。

特長 2

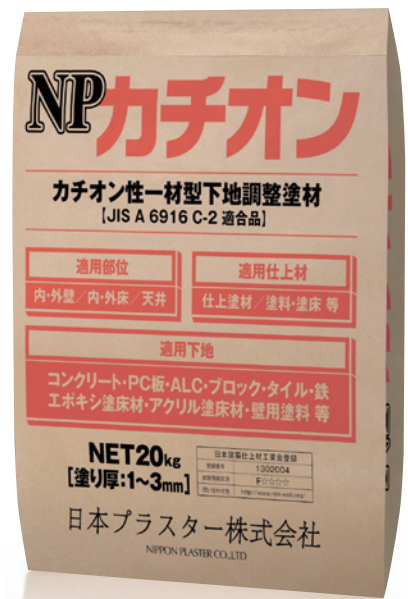
完全一材型だから、現場では 水を混ぜるだけで作業可能

製品による品質のばらつきがなく、安定した品質が得られます。
缶・ボトルなどの廃材も出ません。

特長 3

ポリマーリッチな配合により仮防水機能を発揮します

緻密なポリマーセメント層を形成するため、短期的な仮防水層としても使用できます。
※漏水の恐れのあるひび割れがある場合は予め、該当箇所にシーリング処理を行ってください。



日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1302004
放射等級区分	F☆☆☆☆
問い合わせ先	http://www.nsk-web.org/

標準仕様

製品名	適用部位	適用仕上材	標準塗り厚	塗り面積	標準調合
NP カチオン	内・外壁 内・外床 天井	仕上塗材 塗料・塗床 等	1~3mm	約15m ² /袋 (1mm厚)	粉体1袋 (20kg)あたり 清水 5.4~5.8ℓ

※短期的な仮防水層として使用できますが、最終的な露出仕上げには不向きであり、必ず仕上材の施工をしてください。

適応下地一覧

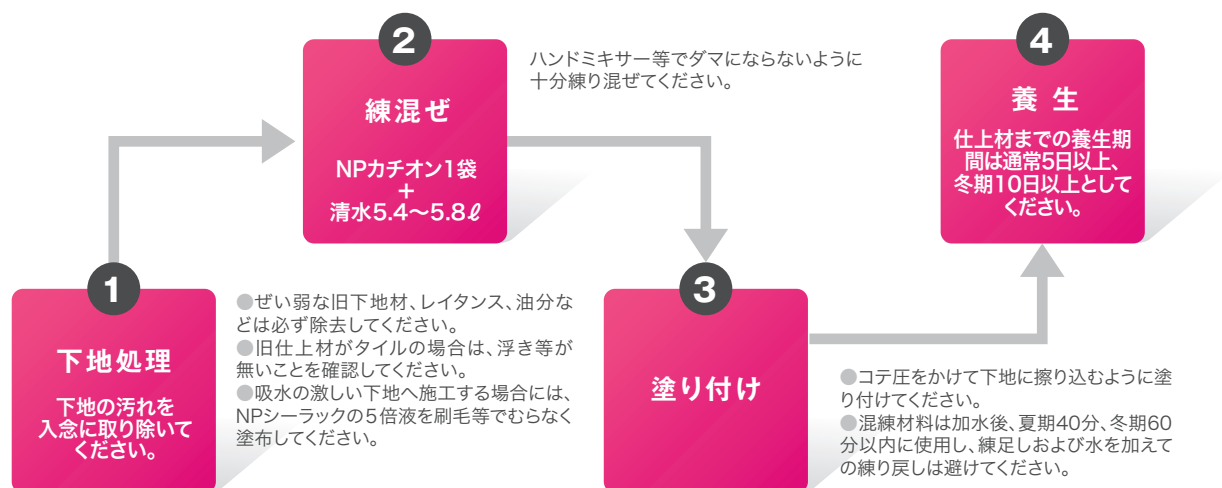
適応分類	下地材の種類
◎	コンクリート、モルタル、ブロック、ALC、PC板、陶磁器質タイル、酢ビ系タイル用接着剤、セメントリシン、各種壁用塗料
○	エポキシ樹脂塗床、アクリル樹脂塗床、鉄板、アクリルリシン
△	ウレタン樹脂塗床、発泡ウレタン
×	アルミニウム、ステンレス、FRP防水

※下地材の強度が弱い場合は、下地を引き起こすことがありますので、下地が健全であることを確認してください。
※△については事前に試験塗りをを行い、付着性を確認してください。

今も明日も、塗り壁。 The way of NURI-KABE

日本プラスター株式会社

NPカチオンの施工方法



- 早期乾燥の恐れのある強い日射や強風の場合は、シート養生や散水養生を実施してください。
- 気温が5℃以下および35℃以上の場合、施工は見合わせてください。
- 製造日をご確認ください。NPカチオンの有効期限は製造日より3ヶ月です。
- 混水量は守ってください。混水の過多・過少により、不具合が発生する場合があります。
- 溶剤系シーラー、溶剤系仕上材を施工する場合は、最低塗厚2mmを確保してください。

NPカチオンの性能

試験項目	試験結果	品質規格
軟度変化(%)	- 2.1	- 20 ~ 20
耐ひび割れ性	ひび割れなし	ひび割れないこと
耐衝撃性	ひび割れ及びひがれなし	ひび割れ及びひがれがないこと
付着強さ(N/mm ²)	標準養生	2.6
	低温養生	1.9
吸水量(g)	0.7	1.0以上
仕上材が複層仕上塗材の場合の耐水性(N/mm ²)	割れ、膨れ及びひがれなし 付着強さ1.2	0.7以上
		1以下
		割れ、膨れ及びひがれがなく、 付着強さが1.0以上であること

※記載の数値は自社での測定値であり、保証値ではありません。

JIS A 6916 建築用下地調整材 試験方法による

■各種下地に対する付着強さ

適応分類	下地材の種類	付着強さ(N/mm ²)	
		標準養生	温冷繰り返し後
◎	コンクリート	1.8	3.2
	陶磁器質タイル	1.2(下地材破壊)	1.4(下地材破壊)
	酢ビ系タイル用接着剤	2.4	1.9
○	鉄板	1.8	2.1
	エポキシ樹脂塗床材	2.0	1.5
	アクリル樹脂塗床材	2.0	2.9
△	発泡ウレタン	0.3	0.2

養生条件 ●標準養生:20℃,60%R.H.で7日間

●温冷繰り返し後:20℃,60%R.H.で14日養生後、温冷繰り返し10サイクル(20℃水中18時間浸漬→20℃,3時間冷却→50℃,3時間加熱を1サイクル)

日本プラスター(株)試験室

注意事項

〈使用上の注意〉

- 取扱い時は必ず保護具(保護手袋・保護眼鏡・マスク等)を着用してください。
 - 取扱いは換気の良い場所にて行ってください。
 - 取扱い後はうがい及び手洗いを十分に行ってください。
 - 取扱い後の器具類は早めに水洗いしてください。
- 〈応急処置〉
- 目に入った場合……直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。
 - 皮膚に付着した場合……直ちに水で良く洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
 - 誤飲した場合……大量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。

〈運送上の注意〉

- 袋の損傷による内容物の漏れが無い事を確認してください。
 - 転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。
 - 湿気、水漏れに注意してください。
- 〈廃棄上の注意〉
- 都道府県条例に基づき処理するか許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
- 〈漏出時の注意〉
- 飛散したものは掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などに回収してください。排水は中和、希釈処理などにより、河川等に直接流出しないように対策をとってください。